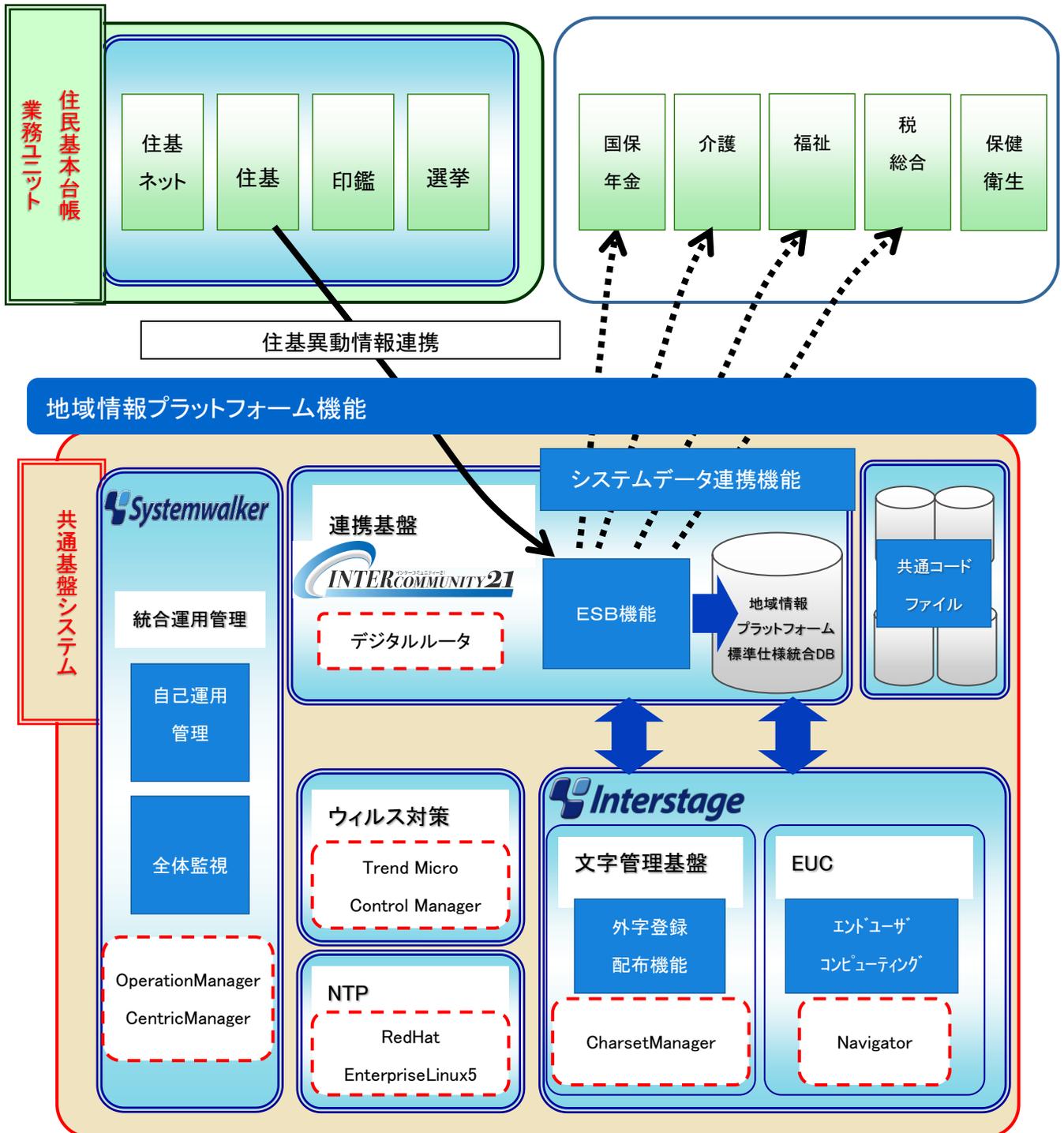


## 共通基盤仕様書

※本仕様書前提条件

本市の住民基本台帳システムなど住民情報系システムとの連携は、共通基盤システムを経由して行うことを前提とする。以下に共通基盤システムの要件を1～7へ示す。

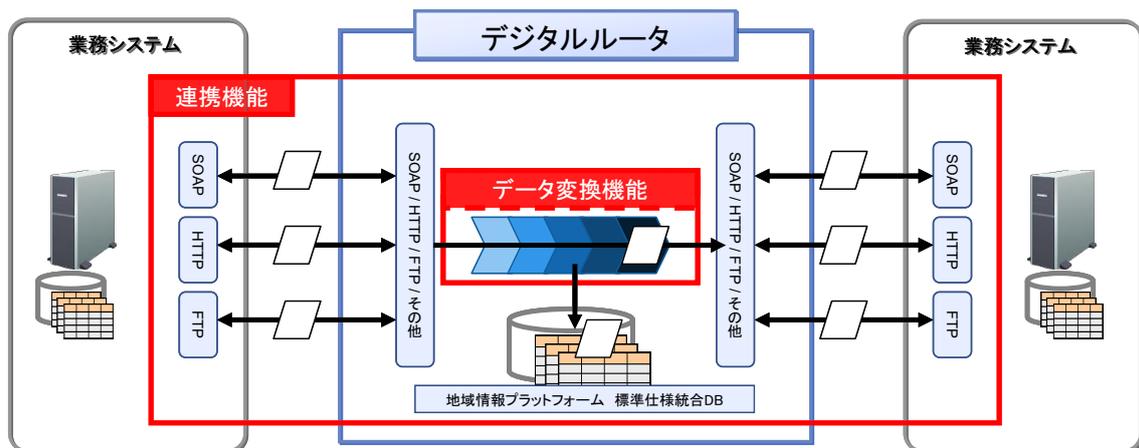


【図1 本市共通基盤システムイメージ】

## 1 連携基盤

共通基盤システムに対しては、原則、地域情報プラットフォームに準拠した方式により連携を行うことを前提とする。なお、システムデータ連携の連携基盤における設定については共通基盤システム構築事業者が行うため、本業務対象システム構築事業者は連携先システムの構築事業者と調整し、連携インターフェースを確定の上、必要な連携情報を共通基盤システム構築事業者に提供すること。

※連携ポリシーは、本市、共通基盤システム構築事業者および連携先システム構築事業者と別途調整するものとする。



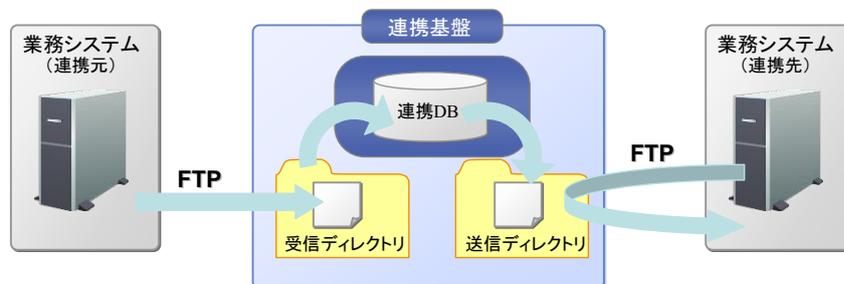
### 【凡例】

 連携データ

※データ変換機能は、文字コード変換、業務コード変換、データ形式変換(固定長⇄可変長など)、およびプロトコル変換を行う

【図2 システムデータ連携イメージ】

連携方式として、以下の方式を提供する。FTP (プロトコル) により行うこと。共通基盤システム上に受信、送信ディレクトリを公開するので、共通基盤システムへのファイル送信時は put コマンド等を使用して受信ディレクトリに、共通基盤システムからのファイル受信時は get コマンド等を使用して送信ディレクトリからファイルを取得すること。



【図3 ファイル連携イメージ】

## 2 文字管理基盤

共通基盤システムの文字管理基盤においては、Unicode (UCS2、UTF-8、UTF16) 上で MS 明朝 5.01 の字形による文字テーブルを標準で管理している。同文字テーブルにおいては、ユーザ定義領域に約 2,500 字の豊橋市固有外字を設定している。本業務対象システムとの連携においては、原則としてこの Unicode (MS 明朝体) もしくは住民基本台帳システムで使用されるものと同様の Unicode (FUJ 明朝体) を用いるものとする。

文字管理基盤が標準としている文字テーブルの中でサポートしていない文字が発生した際には、外字登録にて対応する。ただし、外字登録は共通基盤システム上の文字管理基盤で行うこととする。

本業務対象システムは、共通基盤システム上の文字管理基盤で作成・提供される新規外字コードおよびフォントデータを取り込みかつ自システム内に配信、適用等利用する仕組みを備えること。なお、フォントファイルについては TRANS 形式、tte 形式、BDF 形式、tcf 形式で提供する。

なお、本業務対象システムにメーカー独自の文字コード体系を採用し、文字管理基盤が標準でサポートする文字との間に字形の差異等が発生する場合については、対象システム側で同定、外字登録等をして対応するものとする。

## 3 共通コードファイル

共通基盤システムにおいて共通コードの原本管理を行っているため、必要に応じて、参照、使用すること。

## 4 EUC

共通基盤システムでは各業務ユニットのデータを集約し加工する統合 EUC 機能を具備している。共通基盤システムに対して指定する文字コード、レイアウトでの CSV ファイルを提供可能とすること。

## 5 NTP (時刻同期)

共通基盤システムの NTP サーバへの時刻同期が可能であること。

## 6 統合運用管理

### (1) JOB 管理

共通基盤システムでは、業務ユニット間の JOB 連携を「Systemwalker Operation Manager」によって統合管理している。

複数業務ユニット間に跨る連続した JOB 連携 (連携元業務ユニットのバッチ処理等の実行結果を連携先業務ユニットが受け取り、連続して連携先業務ユニット自身の処理に利用する様な JOB 連携) を行う場合については、JOB 連携状態、結果に係る情報を共通基盤システムに対して提供すること。

(2) システム監視

共通基盤システムでは、サーバ、ネットワークの死活等を「Systemwalker Centric Manager」によって統合管理している。

本業務対象システムは、ネットワークの死活等の情報を共通基盤システムに対して提供すること。

7 ウィルス対策

共通基盤システムでは、ウィルス対策を「TrendMicroControlManager」によって統合管理している。共通基盤システムのウィルス対策サーバからウィルスパターンを定期的にダウンロードし、ウィルスパターンの最新化ができること。